

## 試行・検証等のテーマ

## 東日本大震災による被災した子どもたちへの安全安心な活動

### 背景 ・ 課題

2011年に発生した福島第一原発事故の影響で、福島の子どもたちは内部被爆による甲状腺がんなどの健康被害への危惧が、除染が今もお続けている状況です。また、子どもたちだけではなく、福島県内で子育てを行う保護者さんの中には、子どもへの将来の不安も感じるかたもおられます。

### 事業の ねらい

当協議会の震災支援の取り組み一環で、短期間でも福島県を一時的に離れ、放射線の影響のなし福井県の自然をフィールドに、仲間や自然と共に遊び、学べる場を提供することで、自然の中で思いっきり遊んでもらい、心身のリフレッシュ、また、社会性の醸成、生きる力の育成を図ってもらう。

## 事業内容

<実施にかかる体制>

【福福子どもの笑顔プロジェクト 活動実施メンバー】

活動統括責任者；濱田 貴章

活動指導者；遠藤 典子、高田 陽子、岸上 登志子、千葉 広喜、宮原 涼那

その他、活動内容によって、専門家等の招へいを行う。

※活動の運営については、上記体制の体制にて実施する。

<活動の内容>

○実施期間 2023/8/15-21

○実施場所 福井県福井市上味見地区

○参加者属性、人数 主に福島県内の小中学生 12名

○具体的なプログラム内容 夏の自然体験、テント泊、野外炊飯、その他子どもたちのやりたいこと。活動内容は自分たちで決めていき、暮らしを自分たちで創ることを意識する。実際に行ったプログラムは川遊び、きもだめし、ハイキング、生活場づくり(テント組み立てなど)、森あそび、滝遊び、スイカ割り、キャンプファイヤーなど



## 成果

○計画通りいった点やうまくいかなかった点(その原因も含めて)

→募集がうまくいかず人数が定員より少なかった。コロナ対策が緩和され全国的に体験活動が再開されたためと思われる。

○保護者や参加者から寄せられた意見

・震災から10年以上が経過しているが風化させずにこのような活動を続けていただきたい。

・初めて出会う人や場所でも「楽しかった!」と帰ってこられる機会を提供していただきありがとうございます!

・今回のように参加しやすい形での設定がされているものは少ないので、多くの人がかれからもこういった機会に触れられるよう続けていきたいです。 かなど

## 今後の 展開

震災から10年以上が経過したが福島では新たに処理水などの問題も話題になっています。

地震についても風化させず今後も継続して活動を行なっていきたい。